

薬剤性過敏症症候群(DIHS)

プロピルチオウラシル



56歳，女．初診1カ月前に近医内科にて甲状腺機能亢進症の診断．加療後体幹より紅斑が出現拡大したため紹介受診．38℃の発熱と全身瘙痒を伴い，融合傾向のある浮腫性紅斑を認めた．顔面は紅斑

が散在し，軽度の眼球結膜充血，口唇粘膜および大陰唇に点状びらん，咽頭痛および排尿時痛を訴えた．両側頸部リンパ節は腫脹し圧痛を伴う．

(松澤美幸ほか：皮膚病診療 36：159, 2014)